



新潟県警察

## 事務職員



### 交通部 交通規制課

主事 2019年採用

#### 事務職員を目指したきっかけ

もともと警察官である父の背中を見て警察官に憧れを抱いていましたが、一方で私自身の性格的な面から警察官になるのは難しいとも感じていました。そんなとき、警察には事務職員という職種があることを知り、大学では法学部で民事系分野を専攻していたことから、大学で学んだことが事務職員として生かせるのではないかと思ったことがきっかけです。警察組織の縁の下の力持ちとして県民の安心・安全を守ることができるということに惹かれて事務職員を目指しました。



#### 現在の仕事とやりがい

現在は信号機に関わる仕事をしており、信号機の維持補修及び契約事務を行っています。信号機は安全な道路交通に不可欠であり、ひとたび故障すると県民の生活に多大な影響を及ぼします。そのため、日頃の維持補修はもちろん、故障への迅速な対応が求められます。専門的な信号機の知識を理解するのは大変ですが、障害が発生した信号機を早期に復旧できた際は、県民の安全・安心に貢献できたことが実感でき、仕事のやりがいを感じます。



#### “当たり前の日常を守る”ことへの意識の変化

以前は、落とし物が返ってくる、信号機が点いていることは当たり前のことだと思っていました。しかし、私自身が新潟県警察の一員となった今、この当たり前は警察職員全員が一丸となって県民のために活動しているからだと分かりました。この県民の当たり前の日常を守るために日々精進し、警察官と共に新潟を守っていかねばならないと思うようになりました。



#### メッセージ

事務職員はあまり聞き慣れない職種かもしれませんが、予算の執行、物品の管理といった警察組織を運営する上で重要な業務を担っており、組織に欠かせない存在です。また、警察官が全力で職務を全うできるようにサポートし、事件事故の早期解決に貢献できることも魅力の一つだと思います。少しでも新潟県警察に興味のある方は警察官だけでなく事務職員も選択肢に入れてみてはどうでしょうか。